

先生各位

検査遅延と代替新規項目のお知らせ

謹啓 時下ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。

平素は格別のご愛顧を賜り、有難く厚く御礼申し上げます。

この度、下記検査項目につきまして、試薬製造メーカーより専用採血管の一部のロット番号で不良品があるとの報告がありました。そのため、採血管の供給に大幅な遅延が発生しております。つきましては、当所におきましても、やむを得ず検査一時中止と共に代替(新規受託)項目のご案内を申し上げます。

先生方には大変ご迷惑をお掛けいたしますが、何卒よろしくご了承の程、お願い申し上げます。また、今後ともよろしくご厚誼の程、お願い申し上げます。

謹白

記

● 一時受託中止項目 2013年4月10日より一時受託中止

案内書 掲載頁	項目コード	項目名	遅延理由
47	4901	クオンティフェロン-3 G	クオンティフェロン-3 G採血管の一部ロット不良発生の為(別紙参照)

※但し、正常ロット分につきましては受託可能です。

● 代替(新規)項目

検査項目	検体量と保存	所要日数	実施料	検査方法	基準値
T-SPOT・TB (項目コード:4965)	ヘパリン加血液 9mL (常温)	4~5日	630点 (免疫)	ELISPOT法 (Enzyme Linked Immunospot)	陰性

<T-SPOT・TB(インターフェロン- γ 遊離試験)について>

これまで、結核菌感染症の主流となってきたクオンティフェロン-3 G(QFT)に続き、このたびT-SPOT・TBが保険適用となりました。

クオンティフェロン同様、特異的な結核菌抗原を用い、患者血液から分離した末梢血単核球数を正確に調整し検査を実施するため、血液中の共存物質の影響やリンパ球数の違いといった個人差の影響などを抑えることができます。そのため、投薬などにより免疫が抑制されている状態でも正確に感染を判断できるとされています。また、専用採血管を必要とせず健康診断を含め、日常の検査として取り入れやすいといった利点もあります。

また、BCGの影響を受けないため、ほとんどの成人がBCG接種歴のあるわが国の結核感染の診断補助として期待されている検査です。